

令和 7 年度の事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで

認定 NPO 法人 I V Y

1 事業の成果

以下の通り事業を実施した。各事業の成果は、下記 2 に詳細を記載している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 世界の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
イラク・エル ビル県 地震 で倒壊した 校舎の再建 と教育の質 向上プロジ ェクト	(目標) イラク・エルビル県におい て、地震で倒壊した小中学校 の校舎を再建し、安心安全な 学習環境を整備するととも に、この学校内に新たに高校 を開校して、中等教育の地域 間格差を是正する。また、小 中高校 7 校 の教員を対象に 「子ども主体の教育」と「日 本式教育」を普及し、質の高 い教育が提供されるように する。 (活動) ・教員への能力強化研修の実 施 ・応用研修 ・教育省スーパーバイザー研 修 ・フォローアップ (外務省日本 N G O 連携無 償資金協力)	(A) 2024 年 3 月 31 日～2025 年 10 月 3 1 日 ※注：本事業は、 2023 年度から 2025 年度にま たいで実施。 当該期間は 2025 年 4 月 1 日～2025 年 10 月 3 1 日 (B) イラク共和国 エルビル県エル ビル郡シャマ メック地区 ドゥスタパ村 (C) 5 人	D) イラク共 和国エル ビル県エル ビル郡 シャマ メック地区 ドゥスタ パ村の児 童・生徒、 教員 (E) 5, 247 人	76, 767
イラク・スレ イマニヤ県 日本式教育 や特別活動 教室を活用 したイラク の教育環境 改善事業	(目標) スレイマニヤ県内の小中学 校において、日本式教育の 実践を通して児童の学力 が向上する。 (活動) 1. 児童の主体的な活動の場 である特別活動教室モデ ルの整備と活用 1. 1) 特別活動教室モデ	(A) 2025 年 3 月 3 1 日～2026 年 10 月 3 1 日 ※注：本事業は、 2024 年度から 2026 年度にま たいで実施。当該期 間は 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月	(D) イラク 共和国ス レイマニ ヤ県の児 童・生徒、 教員 (E) 4, 412 人	13, 833

	<p>ルの整備</p> <p>1.2) 特別活動教室維持管理ワークショップ</p> <p>1.3) 特別活動教室の活用とモニタリング</p> <p>2. 教員への日本式教育研修の実施と実践</p> <p>2.1) 日本の知見を活用した教育実践（日本式教育）研修の実施</p> <p>2.2) 日本式教育の実践とフォローアップ</p> <p>2.3) フォーカルポイント教員研修 （外務省日本NGO連携無償資金協力）</p>	<p>31日</p> <p>(B)イラク共和国スレイマニヤ県</p> <p>(C)6人</p>		
<p>イラク・エルビル県長期化する避難生活下における子どもへの教育支援・フェーズ4</p>	<p>（目標）</p> <p>治安の悪化により帰還できずにエルビル県での避難生活を強いられ、適切な公教育を受ける機会を奪われた国内避難民の子どもたちに、必要不可欠な公教育を受ける機会とその学習スペースが確保され、子どもたちのレジリエンスが高まる。</p> <p>（活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IDPの生徒のための保健衛生啓発教育の実施のフォローアップ ・IDPの子どもにやさしい教育を行うための教職員研修を実施のフォローアップ <p>（ジャパン・プラットフォーム助成事業）</p>	<p>(A) 2024年9月3日～2025年10月2日</p> <p>※注：本事業は、2024年度から25年度またいで実施。当該期間は2025年4月1日～10月2日</p> <p>(B)イラク共和国エルビル県</p> <p>(C)6人</p>	<p>(D)イラク共和国エルビル県の児童・生徒、教員</p> <p>(E)1,259人</p>	<p>617</p>
<p>イラク・食料危機下の東モスルキャンプにおける子どもの栄養改善及び国内避難民への緊急食料支援</p>	<p>（目標）</p> <p>東モスルキャンプにおいて、食料危機下にある国内避難民の全世帯へ緊急食糧支援を行うとともに、7歳未満児と妊娠中・授乳中の女性への栄養強化食の配布と栄養研修を行い、その生命と健康を守る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全世帯への食料の配布 2. 乳幼児、妊娠中・授乳中の女性への栄養強化食の配布と栄養研修の実施 <p>（ジャパン・プラットフォーム助成事業）</p>	<p>(A) 2025年4月1日～2025年11月30日</p> <p>(B)イラク共和国エルビル県</p> <p>(C)7人</p>	<p>(D)イラク共和国エルビル県東モスルキャンプの国内避難民</p> <p>(E)1,200世帯</p>	

<p>イラク・クルド自治区・小学校算数科教員の指導力強化のための展開計画策定事業</p>	<p>(目標) クルド教育省により小学校算数科教員の指導力強化のための展開計画が策定される。</p> <p>(活動) 1-1：プログラム開発委員会を組織し、キックオフミーティングを開催する。 1-2：算数科教育に関するフォーカスグループ・ディスカッションを、対象教員と教育局職員と共に実施し、現在の算数カリキュラム、教科書、児童の学力を分析し、改善提案をクルド教育省に提出する。 (JICA 草の根技術協力事業・草の根パートナー型)</p>	<p>(A) 2026年2月2日～2029年1月31日 ※注：本事業は、2025年度から2028年度にまたいで実施。当該期間は2026年2月2日～2026年3月31日 (B) イラク共和国エルビル県 (C)5人</p>	<p>(D)イラク共和国エルビル県の教育省職員、教員、トレーナー (E)328人</p>	<p>3,000</p>
<p>シリア北東部・ラッカ県における新規国内避難民への緊急食料配布事業</p>	<p>(目標) ラッカ県のラッカ郡とタブカ郡において、食料支援にアクセスできていない避難所で食料バスケットを配布することにより、脆弱な国内避難民（IDP）世帯の食料不足を改善する。</p> <p>(活動) 食料バスケットの配布 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)</p>	<p>(A) 2025年4月1日～5月31日 (B) シリア・アラブ共和国ラッカ県、ラッカ郡とタブカ郡 (C)3人</p>	<p>(D) シリア・アラブ共和国ラッカ県、ラッカ郡とタブカ郡の国内避難民 (E)3,200世帯（14,369人）</p>	<p>43,205</p>
<p>シリア・デリゾール県紛争の影響を受けた脆弱な若者のレジリエンス向上支援</p>	<p>(目標) デリゾール県に暮らす脆弱性を持つ若者を対象に、①初等教育による基礎学力の習得支援、②職業訓練プログラムの提供、③インターンシップ実習による収入獲得支援、④心理的支援が必要である若者の命と尊厳を守るため、心の応急処置としてのライフスキル研修により、基本的権利と尊厳を守りながら自立のための具体的な過程を歩んでいけるレジリエンスの向上を目指す。</p> <p>(活動) 1. 初等教育 2. 職業訓練 3. インターンシップ 4. ライフスキル研修</p>	<p>(A) 2025年9月1日～2026年5月1日 ※注：本事業は、2025年度から2026年度にまたいで実施。当該期間は2025年9月1日～2026年3月31日 (B) シリア・アラブ共和国デリゾール県 (C)5人</p>	<p>(D) シリア・アラブ共和国デリゾール県の若者 (E)118人</p>	<p>15,773</p>

	(ジャパン・プラットフォーム助成事業、真如苑助成事業)			
バングラデシュ・コックスバザール県ラムー郡市場志向型農業を通じた小規模農家の生計向上支援事業	(目標) ラムー郡カウアルコプ・ユニオンの最も貧しい階層(人口の20%)の所得の割合が改善する。 (活動) ・事業開始ワークショップと裨益者選定 ・野菜栽培に関する研修の実施(育苗、雨季野菜、冬季野菜)、養鶏に関する研修 ・農業資材の配布 ・鶏糞と家庭ごみ、牛糞を用いた堆肥作り研修の実施 ・共同出荷のための研修とワークショップ ・スタッフによる定期的なモニタリング (自己資金)	(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B) コックスバザール県ラムー郡カウアルコプ・ユニオン1区・2区 (C) 18人	(D) ラムー郡カウアルコプ・ユニオンの最も貧しい階層(人口の20%) (E) 160世帯(約800人)	12,715
たばこから野菜へ!バングラデシュ・ラムー郡の小規模農家の未来をひらく、ソーラー発電式ポンプ井戸の建設を応援!事業	(目標) 井戸2箇所の建設費用を捻出するため、目標額70万円のクラウドファンディングを実施する。目標額達成後に決定される追加助成20万円で野菜の種子(4種)と農業資材(捕虫器)を供与する。 (活動) ・井戸の掘削(2箇所)と住民による管理組合の結成と活動サポート (クラウドファンディング、ケイズハウスNPO助成プログラム)	(A) 2025年8月25日～9月30日 (B) コックスバザール県ラムー郡カウアルコプ・ユニオン1区・2区 (C) 18人	(D) コックスバザール県ラムー郡カウアルコプ・ユニオンの最も貧しい階層 (E) 井戸の利用60世帯(約300人)、追加助成の配布対象160世帯(約800人)	903
南東部ザポリージャ市・医療へのアクセスが困難な脆弱な人々のための保健医療支援	(目標) ザポリージャ市のIDP及び地域住民が一次医療と心のケアを受けることにより、心身の健康状態が改善する。 (活動) ザポリージャ市のIDPシェルターの脆弱な人々への一次医療と心のケアの提供 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2025年9月1日～2026年5月31日 ※注:本事業は、2025年度から2026年度にまたいで実施。当該期間は2025年9月1日～2026年3月31日 (B) ウクライナザポリージャ州 (C) 12人	(D) ザポリージャ州の国内避難民及び地域住民 (E) 3,450人	48,540

② 日本に定住する外国人等に対する支援事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
通訳翻訳サービス	(目標・期待される成果) 言語による不利益を縮小し、 基本的人権の享受に資する。 (活動) 医療や行政、福祉機関、民間 事業所等の通訳需要に応える。	(A) 2025年4月1 日～2026年3 月31日 (B) 山形県内 (C) 28人	(D) 山形県内 の通訳派 遣／翻訳 依頼者 (E) 27人	266
通訳養成事業	(目標・期待される効果) 専門分野の知識を深め、通訳 の質の向上を目指す。 (活動) A I R Yとの共催事業。司 法・医療分野の学習会。 Zoom を活用し、参加者増 を図る。	(A) 2025年4月 1日～2026年3 月31日 (B) 山形県内 (C) 3人	(D) 講座参加 者 (E) 64人	100
多言語相談サービス	(目標・期待される効果) 外国出身者が母語で相談で きる窓口を担保する。 (活動) 相談者の母語で相談を受け、 情報提供、他機関へのリフ ァー、必要に応じて同行支 援を行う。	(A) 2025年4月 1日～2026年3 月31日 (B) 山形県内 (C) 3人	(D) 山形県内 在住の外国 人 (E) 19人	1
国際結婚40周年事業	(目標・期待される効果) 外国出身者に今必要なこ とは何か、ともに考える (活動) 来日してからこれまで、 及び今の活動や考えてい ることを国際結婚当事者 と語り合う。	(A) 2025年4月 1日～2026年3 月31日 (B) 日本国内 (C) 9人	(D) 国際結婚 の当事者 (E) 8人	-

③ 地球市民を育てる国際理解教育

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)

他機関との連携を通じた国際理解教育の講師派遣	(目標) 他機関との連携を深め、講師派遣の場を増やす。 (活動) ・学校現場や大学、他団体からの要請に基づき、ワークショップを行う。 ・他機関と連携し、ワークショップを実施する。	(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B) 東北6県 (C) 2人	(D) 東北6県の市民、児童・生徒・学生 (E) 348人	94
------------------------	---	--	----------------------------------	----

④ 関連団体及び関係する県内、国際機関との情報交換、連絡調整及び協力、並びにこの法人の目的にかなう事業を行っている他団体に対しての助成援助

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
外務省 NGO 相談員事業	(目標) 東北のNGO団体の基盤強化に向けた相談対応、広く市民に対し国際協力活動についての理解促進を図る。 (活動) 相談対応業務、出張サービス、広報	(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B) 主に東北6県 (C) 7人	(D) 東北6県のNGO及び市民等 (E) 691人	2,618
【IVYyouth】 海外活動・バングラデシュプロジェクト	(目標) バングラデシュにおいて、初等教育向けの算数教育支援を行い、教育及び生活水準の向上に寄与する。 (活動) 5月～7月 算数ドリル試作品作成 9月 クラウドファンディング開始	(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B) 山形市、バングラデシュ人民共和国 (C) 7人	(D) バングラデシュ人民共和国事業実施地域の児童・生徒、教員 (E) (準備段階のため受益者は0人)	0
【IVYyouth】 国際理解部門	(目標) 国際理解に関心のある人を増やす。IVYyouthの活動を発信する。国際問題への理解を深め、ファシリテーションスキルを身につける。 (活動) 4月 新入生歓迎フェスティバル 8月 イングリッシュキャンプ in 尾花沢 10月 八峰祭 2月 子ども食堂でのボランティア	(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B) 山形市、尾花沢市、山辺町 (C) 6人	(D) ワorkshop参加者(山形市、尾花沢市、山辺町の住民) (E) 50人	5

<p>【I V Yみやぎ】 インターネット等を活用した広報・キャンペーン</p>	<p>(目標) 宮城県仙台市を中心にI V Yの事業を広報することで、会員、支援者を拡大する。 クラウドファンディング等により資金を個別に募る事業に対して広報協力等を行い、目標額の達成に寄与する。 (活動) 2025年8月25日～2025年9月30日 バングラデシュソーラー発電式ポンプ井戸の建設のクラウドファンディングへの協力(コンダラント)</p>	<p>(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B)宮城県仙台市 (C)1人</p>	<p>(D)みやぎ県内の市民・学生 (E) (広報活動のため、受益者数をカウントできない)</p>	-
--	--	---	---	---

⑤ 上記の事業遂行に関して一般市民に対しての理解と支持を求めるための、機関紙、刊行物などの発行及びマスメディアなどを通じた広報活動

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
広報強化	<p>(目標) 定期・不定期の情報発信によりI V Yの活動・理念の認知度を向上する。 (活動) 1) SNS投稿 2) ホームページ更新 3)メルマガ配信 4)Congrant、READYFOR 活動報告 5)オンラインイベント開催 6)プレスリリース</p>	<p>(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B)全国 (C)6人</p>	<p>(D) (E) (広報活動のため、受益者・数は徳的できない)</p>	-
ファンドレイジング	<p>(目標) 長期計画を定め、2026年度到達目標を達成する。 (活動) 1)クラウドファンディングの実施 2)マンスリーサポーター募集キャンペーン実施 3)募金箱 4)幸せの黄色いレシートキャンペーン 5)書き損じはがき</p>	<p>(A) 2025年4月1日～2026年3月31日 (B)全国 (C)6人</p>	<p>(D) (E) (広報活動のため、受益者・数は徳的できない)</p>	-

⑥ 国内外の災害救援活動
実施しなかった

⑦ その他この法人の目的達成に必要な事業
実施しなかった

(2) その他の事業
実施しなかった

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。